

第70回テーマ:



穂高湖でのカヌー体験

「自然の家」における  
環境学習支援

講演内容

- 自然の家で実施している  
体験型環境学習
- 環境体験事業を支援する  
活動について
- これからの環境学習について

実施日:平成21年1月17日(土)  
午後1時~3時45分  
場 所:六甲山YMCA



講師: <sup>い</sup>けだ <sup>けん</sup>じ <sup>二</sup>さん  
プロフィール

1968年生まれ。神戸市出身。  
大阪経済大学経済学部卒業。  
民間企業勤務を経て、1995年  
神戸市小学校教員へ。現在、  
神戸市立自然の家指導主事。

雪化粧の六甲山

震災から14年目のセミナー当日、六甲山は雪化粧でした。YMCAの星の池も凍結していました。

雪の中、午前中の環境整備には15名が参加。実験区画の境界に張ったロープが雪に埋もれ、探すのも一苦勞でした。大人数で樹種調べの作業を楽しみました。



六甲山YMCAの雪だるま

「自然の家」の経営に熱い意気込み

今回の市民セミナーは、神戸市立自然の家・指導主事の池田さんにお願ひしました。当日は直前まで資料準備をされて、昼食抜きで講演を始められました。100枚以上のスライドや配布資料をご用意いただき、講演にかける熱意を感じました。

神戸市立自然の家は、06年から指定管理者制度で財団法人神戸市体育協会が運営しています。施設の利便性向上と経費節減、さらに冬の利用者獲得など経営全体の課題に対し、切実感を抱かれて日々奮闘されています。

環境体験学習の充実を図っている

青少年のための教育施設である「自然の家」は、市街地から近い野外体験活動の拠点です。

環境体験学習の施設として、自然や人とのアクティビティを高める様々なカリキュラムも用意して、学校の教育を支援しています。



イニシアティブゲームを体験

また、アウトドア入門キャンプなど市民の利用を

主催:六甲山自然保護センターを活用する会

協力:兵庫県立人と自然の博物館

後援:兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

促進する事業にも力を入れており、利用率は36%になっています。07年度から兵庫県の環境体験事業がスタートし、野外施設への小学3年生の受け入れ態勢を整えています。自然環境を生かした環境学習のカリキュラムづくりにもスタッフの皆さんで知恵を絞っておられ、新たな環境教育の提案も課題になっているとのこと。

小学生も参加! 六甲山上の環境学習を拡げたい

大人に混じって六甲山小学校の大石君と斎藤君の2人が熱心にメモを取っている姿は印象的でした。

当会の「六甲山子どもパークレンジャー」の環境学習との接点ができたようで、今後の協力や連携を大切にしたい。



小学生2人も参加

※詳しくは、1、2ページをお読みください。

参加の感想 富井 善之さん

前回に引き続き2回目の参加ですが、神戸市民として非常に人生の豊かさを感じさせて頂き感謝申し上げます。今回のセミナーについて「自然の家」の充実した設備とカリキュラムを更にPRし、より多くの市民の活用を希望します。

また、他の施設(森林植物園、青少年科学センター等)とも連携をとり更なる「自然・環境の大切さ」を広めればと思います。ただ、当施設の管理制度について将来に一抹の不安を感じました。



【助成金をいただいている機関】

コベルコ環境保全基金、灘区役所  
公益信託自然保護ボランティアファンド、  
公益信託TaKaRaハーモニストファンド



# 第70回テーマ：「自然の家」における環境学習支援



## 第70回市民セミナーの流れ

### 市民セミナー

1. あいさつ : 13:00~13:05
2. 講演 : 13:05~15:00
3. 休憩 : 15:00~15:10
4. 交流会 : 15:10~15:45

### 講演

- 自然の家で実施している体験型環境学習
- 環境体験事業を支援する活動について
- これからの環境学習について



当日は震災記念日、黙祷を捧げました

## 講演の挨拶 (池田 憲二さん)

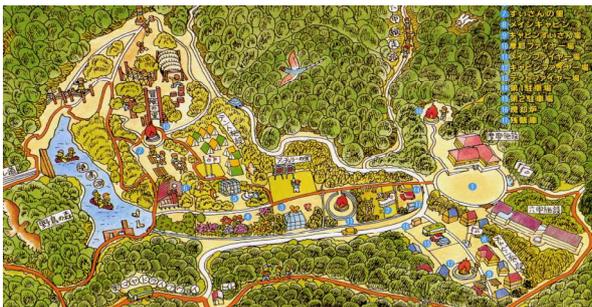
昨年4月に自然の家に赴任するまで、ずっと小学校教諭をしていました。専門は体育です。まずは自然の家のことを知っていただければありがたいです。自然の家の施設と環境学習を併せてお話をさせていただきます。



池田 憲二さん

## 講演内容

### 1. 自然の家の施設と成り立ち



自然の家 鳥瞰図

神戸市立自然の家は、六甲山牧場の南側にあり、広い敷地がある。施設には①摩耶施設：中心的な運営施設で、平成3年にできた新しい施設。②六甲施設：昭和48年築。自然の家の歴史が始まったところ。昨年改装した。③テントサイト：約70人泊まれる。④キャビン施設。⑤冒険の里：アスレチック場。その他の施設として穂高湖や、はだしの里、アーチェリー場などがある。



摩耶施設



六甲施設



冒険の里



キャビン施設

### ■公害が深刻になって自然の家ができた

昭和37年、前身の「六甲山ユースセンター」が開所し、昭和48年に「自然の家」になった。

設立の背景には、深刻な公害問題を受けて昭和46年に始まった国の健康増進事業「グリーンスクール」がある。硫黄酸化物濃度が市内の平均値以上にある学校を対象に、恵まれた自然環境で学校教育活動を行い、学習能率の向上と健康の増進を図るという内容だった。

### ■「自然の家」は青少年のための教育施設

シンボルマークは「友愛・規律・奉仕」を表している。①野外体験活動②集団宿泊訓練③自然教育をテーマとする、在学青少年のための野外教育施設として建てられた。



シンボルマーク

設立当時の利用区分を見ると、小学校が約50%で、中学校・高校・大学を含めた学校施設が90%。一般の利用は10%しかなかった。

### ■野外体験活動は重要さを増している

野外体験活動（キャンプ）は、仲間内のバーベキューのような遊びのキャンプではない。意図や目的があり、指導者のいる組織キャンプだ。

現代社会では、野外体験活動は特に重要だと思う。野外体験活動では人と関わらざると得ない。便利な生活のありがたみを学ぶことができる。自然や社会、生活の体験ができ、チャレンジ体験もできる。

### 2. 自然の家で実施している環境体験学習

#### ■自然や人とのアクティビティ

自然の家では、環境教育のねらいの中でも特に環境に対する豊かな感受性の育成ができる、自然にふれあうアクティビティとして、ネイチャーゲームや手と鼻を使った自然観察など。人と関わるアクティビティとして、イニシアティブゲーム（ヘリウムフープ）や野外炊事などがある。冒険プログラムとして岩登りやカヌー体験などがある。

#### イニシアティブゲームを体験！

フラフープを使ったイニシアティブゲームを体験しました。10人ほどがフラフープを囲み、人差し指一本で支えながら高さを上げたり下げたりするゲームです。参加者同士のチームワークがないと、うまくいかないようで、とても難しかったです。※表紙に写真



ネイチャーゲーム



クラフト

### ■一般市民向け主催事業にも力を入れている

市民利用促進事業として、一般市民の利用も進めている。アウトドア入門キャンプは親子で参加でき、人気がある。わくわくキャンプや昆虫さがしキャンプなど、子どもたち向けの自然の家主催事業も実施している。設立当初は10%しかなかった一般利用が、現在では36%になっている。

### ■より利用しやすい教育施設になるために

今、学校の教育現場は本当に忙しくなっている。教員は教科の指導以外に総合的学習の教育課程作成や各種行事やクラブの運営に追われている。自然の家では、野外活動の計画段階から教員・指導者をサポートし、教員を対象とした研修会を開催している。

## 3. 自然の家を取り巻く環境の変化

### ■指定管理者制度の実施

2003年に地方自治法が一部改正施行された。それまで地方公共団体・外郭団体に限られていた公の施設の管理運営を、一般企業などに代行させることができるようになった。

自然の家は06年から財団法人神戸市体育協会の指定管理になっている。

### ■指定管理者制度の意義と問題点

指定管理者制度はサービス・利便性向上と、自治体のコスト削減が意義になっている。

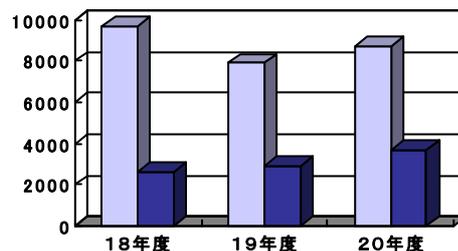
問題点は、民間企業が公共施設を私物化するという懸念もある。また、4年ごとに管理者の選定があるので、長期間の人材育成ができないことも問題。スタッフにも長く勤めようという気持ちが起きにくいのが心配だ。

### ■県の環境体験事業がスタート

07年度から兵庫県の環境体験事業がスタートした。小学校低学年が五感をつかって自然にふれあえる体験型学習を継続的に実施するというもの。神戸市の学校でも小学校3年生を対象に全校で実施されている。

### ■自然の家の今後の課題

教育施設として、教育支援に軸足を置いた経営をしながら、利便性向上と経費削減を図る。春～秋にかけては多くの利用者がいるが、冬の利用者は少ない。新たな環境教育を提案する必要がある。



「一般・主催事業 利用者数」(左:一般利用者数、右:主催事業)

## 質疑応答

### 六甲山全体の自然をテーマにした取り組みは？

まだない。環境教育自体が手探り状態で、六甲山にある自然を感じてもらおう程度になっている。

### 垂水の海岸が狭くなった。温暖化の影響は？

日本各地で見られる現象で、温暖化よりも、陸側の土砂供給量が減ったことが原因だと思う。

### まとめ(池田さん)

自然の家は六甲山の豊かな自然をいかした環境学習ができます。環境学習では身近な地域の自然を学ぶことが重要です。市街地からのアクセスもよく、料金も安い便利な施設です。ぜひ自然の家にお越しください。

### 事務局より

自然の家の環境学習支援が充実しており、今後の発展が楽しみ。大きな期待を持ちながら連携を図っていきたい。

### ◆参考・配布資料など

- ・スライドとレジュメ:「神戸市立 自然の家～自然の家における環境学習支援～」
- ・パンフレット:「神戸市立 自然の家」
- ・ハンドブック:「自然の家 利用案内」

### ◆参加者の声～アンケートより～

- ・たのしかった。アスレチックのことが面白そうだから今度行ってみたい。
- ・素晴らしい施設とその活動を知ることができました。大学生、一般市民の利用を拡げるよう期待します。

### ◆参加者: 23名(50音順・敬称略、小学生2名)

浅井 審一 池田 螢俊 池田 憲二 伊澤 信雄  
泉 美代子 大石 昂生 岡谷 恒雄 尾崎 尚子  
久保 紘一 斉藤能斗也 高橋 敬三 寺本真砂子  
富井 善之 堂馬 英二 堂馬 佑太 橋本いくゑ  
林 和俊 藤井宏一郎 松本 靖 村上 定広  
吉野 京子 米村 邦稔

神戸市立 自然の家 指導主事  
池田 憲二 いけだ けんじ  
〒657-0101 神戸市灘区六甲山町中一里山 1-1  
電話: 078-891-0001 FAX: 078-891-0002  
E-mail: ksi@kobe-sizennoie.com  
http://www.kobe-sizennoie.com